

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成25年5月2日 (2013.5.2)

【公開番号】特開2011-203379(P2011-203379A)

【公開日】平成23年10月13日 (2011.10.13)

【年通号数】公開・登録公報2011-041

【出願番号】特願2010-68782(P2010-68782)

【国際特許分類】

G 0 2 B 27/02 (2006.01)

G 0 9 G 3/20 (2006.01)

H 0 4 N 5/64 (2006.01)

【F I】

G 0 2 B 27/02 Z

G 0 9 G 3/20 6 8 0 A

G 0 9 G 3/20 6 1 1 F

H 0 4 N 5/64 5 1 1 A

【手続補正書】

【提出日】平成25年3月13日 (2013.3.13)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

使用者の頭部に固定するための支持部と、

該支持部に固定され、表示すべき映像の映像光を出射する映像射出部を有する本体部と

、

前記映像射出部から出射した映像光を入射し、前記支持部を使用者の頭部に固定した状態で、入射した該映像光を使用者の対応する眼球へ導光する棒状の導光部を有し、使用者の視野内に前記映像射出部の前記映像の拡大像を虚像として表示する接眼光学部と、

前記本体部に前記接眼光学部を交換可能に取付ける取付手段と

を備え、

前記取付手段は、前記映像射出部から前記眼球へ前記映像光を導光する光学系の光軸経路が異なる、少なくとも第 1 の接眼光学部および第 2 の接眼光学部を、交換可能に取付けることを特徴とする頭部装着型表示装置。

【請求項 2】

前記第 1 の接眼光学部と前記第 2 の接眼光学部とは、前記光軸経路の屈曲回数が異なることを特徴とする請求項 1 に記載の頭部装着型表示装置。

【請求項 3】

前記第 1 の接眼光学部と前記第 2 の接眼光学部とは、前記光軸経路の前記接眼光学部から前記眼球に向かう射出位置が異なることを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の頭部装着型表示装置。

【請求項 4】

前記第 1 の接眼光学部と前記第 2 の接眼光学部とは、前記光軸経路の前記接眼光学部からの前記眼球に対する射出角度が異なることを特徴とする請求項 1 - 3 のいずれか一項に記載の頭部装着型表示装置。

【請求項 5】

前記第 1 の接眼光学部と前記第 2 の接眼光学部とは、前記光軸経路の長さまたは光路長の少なくとも一方が異なることを特徴とする請求項 1 - 4 のいずれか一項に記載の頭部装着型表示装置。

【請求項 6】

前記第 1 の接眼光学部および前記第 2 の接眼光学部の一方は、前記光軸経路が同一平面上にあり、他方は、前記光軸経路が複数の平面に渡ってあることを特徴とする請求項 1 - 5 のいずれか一項に記載の頭部装着型表示装置。

【請求項 7】

前記映像射出部は、前記眼球の視軸上から外れて位置し、前記接眼光学部は、前記光軸経路を 2 回以上屈曲させることを特徴とする請求項 1 - 6 のいずれか一項に記載の頭部装着型表示装置。

【請求項 8】

前記接眼光学部は、前記光軸経路が前記眼球の中心を通るように構成されていることを特徴とする請求項 1 - 7 のいずれか一項に記載の頭部装着型表示装置。

【請求項 9】

前記取付手段は、前記映像射出部の前記眼球に対する位置関係を固定した状態で、前記接眼光学部を交換可能に構成したことを特徴とする請求項 1 - 8 のいずれか一項に記載の頭部装着型表示装置。

【請求項 10】

前記本体部は、取付けられた前記第 1 の接眼光学部または前記第 2 の接眼光学部に対応して、表示映像を切り替える映像切替手段を有することを特徴とする請求項 1 - 9 のいずれか一項に記載の頭部装着型表示装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

上記目的を達成する請求項 1 に係る頭部装着型表示装置の発明は、  
使用者の頭部に固定するための支持部と、

該支持部に固定され、表示すべき映像の映像光を出射する映像射出部を有する本体部と

、  
前記映像射出部から出射した映像光を入射し、前記支持部を使用者の頭部に固定した状態で、入射した該映像光を使用者の対応する眼球へ導光する棒状の導光部を有し、使用者の視野内に前記映像射出部の前記映像の拡大像を虚像として表示する接眼光学部と、

前記本体部に前記接眼光学部を交換可能に取付ける取付手段と  
を備え、

前記取付手段は、前記映像射出部から前記眼球へ前記映像光を導光する光学系の光軸経路が異なる、少なくとも第 1 の接眼光学部および第 2 の接眼光学部を、交換可能に取付けることを特徴とするものである。